

自分を好きになる

発行日 平成30年10月26日

◎放課後学習委嘱式

10月10日（水）に放課後学習の委嘱式が行われました。昨年度に引き続き、地域企業の若手社員の方や町内の教員OBの方に、自主学習のサポートをいただきます。今年度は、全学年から募ったところ、67名の参加希望者がありました。以下、委嘱式での、学校長の挨拶を紹介いたします。



地域に支えられた進路実現

昨年度からはじめた放課後学習も2年目を迎えることができました。

昨年は、教員OB11名に加え、企業からも5社8名の講師の皆様にご協力をいただき、47名の生徒が放課後学習に取り組み、全員が希望する高校に進学することができました。

その成果か、「今年は是非1.2年生にも放課後学習を」との保護者の声に応え、全学年から参加者を募ったところ、3年48名、1年12名、2年7名、総勢67名の生徒が参加することとなりました。

全国学力学習状況調査の結果を見ると、「宿題をしていますか」の問いに「している。」と答えた生徒は、全国平均68.5%に比べ、本校生徒は87.9%で「どちらかといえばしている」生徒を加えると、実に97.2%の生徒が宿題を確実にしていることがわかります。

ところが、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いには、全国平均16.6%に比べ、本校は6.5%、また「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」という問いに対しては、全国平均18.2%に比べ、本校は4.7%に過ぎません。

つまり、与えられた課題はまじめに取り組むが、自ら考えて学習する習慣が身につけていないことがわかります。

この課題を解決するために一昨年度から水曜の清掃を無くし「自学の時間」を設けたり、予習を前提に行う「教えて考えさせる授業」に取り組んだりしてきましたが、この「放課後学習」も、自主的に学習する力を高める一助になると思っています。

ただ、水曜の放課後1時間半放課後学習をしたからといって、それが学力向上に直結するとは考えていません。大切なのは、自ら参加しようと決め、真剣に学習に取り組む環境の中で、一人になって学習に打ち込む体験が、家庭に帰り、一人になっても、自ら計画を立て、学習に取り組む意欲と、習慣を築き上げていくきっかけになればと期待しているのです。

生徒諸君。この放課後学習は、自学自習を基本としています。学力は人から与えられるものではありません。自ら学ぼうと取り組むことでしか確かな学力は身に付かないのです。

ここに集まった皆さんは、教えてもらうのを待っているのではなく、自分で勉強してもよく分からないことをこの場にきて質問するのだという姿勢を大切にしてほしいと思います。

今年は、放課後学習の趣旨に賛同してくださる、企業も倍に増え、10社16名の講師の方々に来ていただき、さらに教員OB10名を加え、総勢26名の講師の先生に教えていただくことができました。企業の方々にもご協力いただける「放課後学習」は、他の地域では類を見ない取り組みです。この放課後学習は、「坂城の子は坂城で育てる」という町の教育スローガンの象徴であるとも思います。

この生徒たちが、学ぶ楽しさを感じ、自ら学ぶ意欲と習慣を身に付けられるよう、講師の皆様には半年間お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

以下、取材していただいた信濃毎日新聞（10月12日付）の関連記事を掲載します。



10月17日（水）に第一回の放課後学習が行われました。4名の講師の先生方に2会場に分かれていただき、スタートしました。肌寒い季節になりましたが、会場は静寂な中にも学習意欲の熱意に満ち、「暖房が入っている？」と勘違いするほどでした。



◎性被害防止教育キャラバン隊講演会

講師に、南澤信之様、県警スクールサポーターの工藤貴子様をお迎えしてご講演いただきました。インターネット・SNSの手軽さの裏に潜む危険性を確認できたことと思います。自分のもとより友達を巻き込まない使い方を心がけ実践していきましょう。



◎11月5日の参観日は全校パネルディスカッション

先に通知でお知らせしてありますが、来週は参観日があります。生徒会も積極的に発信する力の向上を目指しています。ご都合をつけての来校をお待ちしております。

P T A講演会では、前述した南澤信之様に保護者向けのご講演をいただきます。その後、学校長より、来年度以降の集金方法、毎年のクラス替えについてお話ししたいと思いますので、よろしくお願いします。